

生活交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について

協議趣旨

NPO 法人わだちが実施している竹岡地区交通空白地有償運送は、国の令和 4 年度地域公共交通確保維持改善事業の計画認定を受けていることから、同事業実施要領等に基づき、自己評価（一次評価）を行い、令和 5 年 1 月末日までに国へ提出する必要があります。

このため、事務局作成の評価案を、富津市地域公共交通会議の評価とすることとしてよろしいか、ご協議いただくものです。

【参考】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱 抜粋
(協議会)

第 3 条

- 5 協議会は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

地域公共交通確保維持改善事業実施要領 抜粋

8. 事業評価について

(1) 事業評価の実施

① 自己評価（一次評価）

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価（以下「自己評価」という。）を行い、当該自己評価の結果を、地域公共交通確保維持事業及び地域公共交通調査等事業にあつては、補助金の交付を受けようとする会計年度の 1 月末までに、地域公共交通バリア解消促進等事業にあつては、補助金の交付を受けた会計年度の翌年度の 1 月末までにそれぞれ協議会から、地方運輸局、神戸運輸監理部、地方航空局又は沖縄総合事務局（以下「地方運輸局等」という。）に報告するとともに、公表することとする。

令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年12月21日

協議会名: 富津市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
NPO法人わだち	竹岡地区交通空白地有償運送	利用者向けアンケート調査の結果を基に実施した令和3年度10月のダイヤ改正により、多くの利用者のニーズに対応することができるようになった。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 計画に位置付けられた目標を達成することができた。(利用者数の目標値700人に対し実績800人となり、1運行あたりの利用者数は2.84人であった。また、昨年度と比べ利用者数が1.5倍に増えていることから、A評価とした。)	今後も利用者動向に注視しつつ、事業者とともに必要な見直しを検討する。また、地域の医療・商業施設と連携し、より利便性の高い運行方法を検討する。

令和4年度 富津市地域公共交通会議（千葉県富津市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

地域の公共交通等の現況・課題

富津市の公共交通は、JR内房線(6駅)、東京湾フェリー、高速バス(5路線)、路線バス(8路線)及び5事業者によるタクシー運行がある。鉄道駅やバス路線沿線に人口の分布がみられるものの、市域に広く居住分散し、人口減少及び少子高齢化、また、市全体として、自家用車に対する依存度が非常に高く(2.02台/世帯)、各交通機関の利用者は全体として減少傾向にあり、公共交通サービスの維持確保が年々難しくなっている。

交通計画の基本的な方針／定性的な目標

基本方針:①各公共交通機関の連携と乗継環境の向上による利用しやすい公共交通網の形成を目指す②地域の特性や実情に即した公共交通網の形成を目指す③利用者目線に立った分かりやすい公共交通サービスを目指す④多様な主体との連携による観光振興や商業活性化と一体となった持続可能な公共交通を目指す

評価指標:公共交通網の整備に満足している人の割合 14%(2015年)⇒30%(2022年)
市内公共交通機関の利用者 268万人(2015年)⇒268万人(2022年)

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

「公共交通網の形成に関する基本的な方針」において掲げた方針及び目標の実現に向けて、各交通機関の利用促進や、地域にあった移動手段の導入など全16事業を実施している。

主な実施事業としては、平成31年4月から、市内竹岡地区において、NPO法人の運営による交通空白地有償運送事業を開始したほか、令和元年7月から、運転免許証を保有していない高齢者等や運転が一時的に困難となる妊産婦に対し、タクシー運賃の一部を助成する「富津市タクシー運賃助成事業」を実施している。

アピールポイント

竹岡地区交通空白地有償運送を行っているNPO法人は、本事業を担う以前から、同地区を拠点として、福祉有償運送事業を行っていた実績があり、運営スタッフもほとんどが地域住民であり、地区住民の移動ニーズを含めた生活実態といった情報について把握しやすい。

主な移動ニーズとなりうる通院需要に応えるため、沿線にある診療所の診療日に合わせ、火、金の週2回の運行日を設定している。



面積	205.40km ²
人口 (R4.4.1時点)	42,382人
15歳未満	3,560人
65歳以上	16,493人
高齢化率	38.9%

交通計画の計画期間

平成30年3月～令和5年3月

協議会開催状況

(令和4事業年度に係るもの)

・第1回(令和4年6月)

富津市地域公共交通網形成計画に係る2021年度事業の評価及び2022年度事業計画(案)について
富津市地域公共交通計画確保維持改善計画(案)について

峰上地区における新たな移動手段の運行内容(案)について

・第2回(令和4年10月)

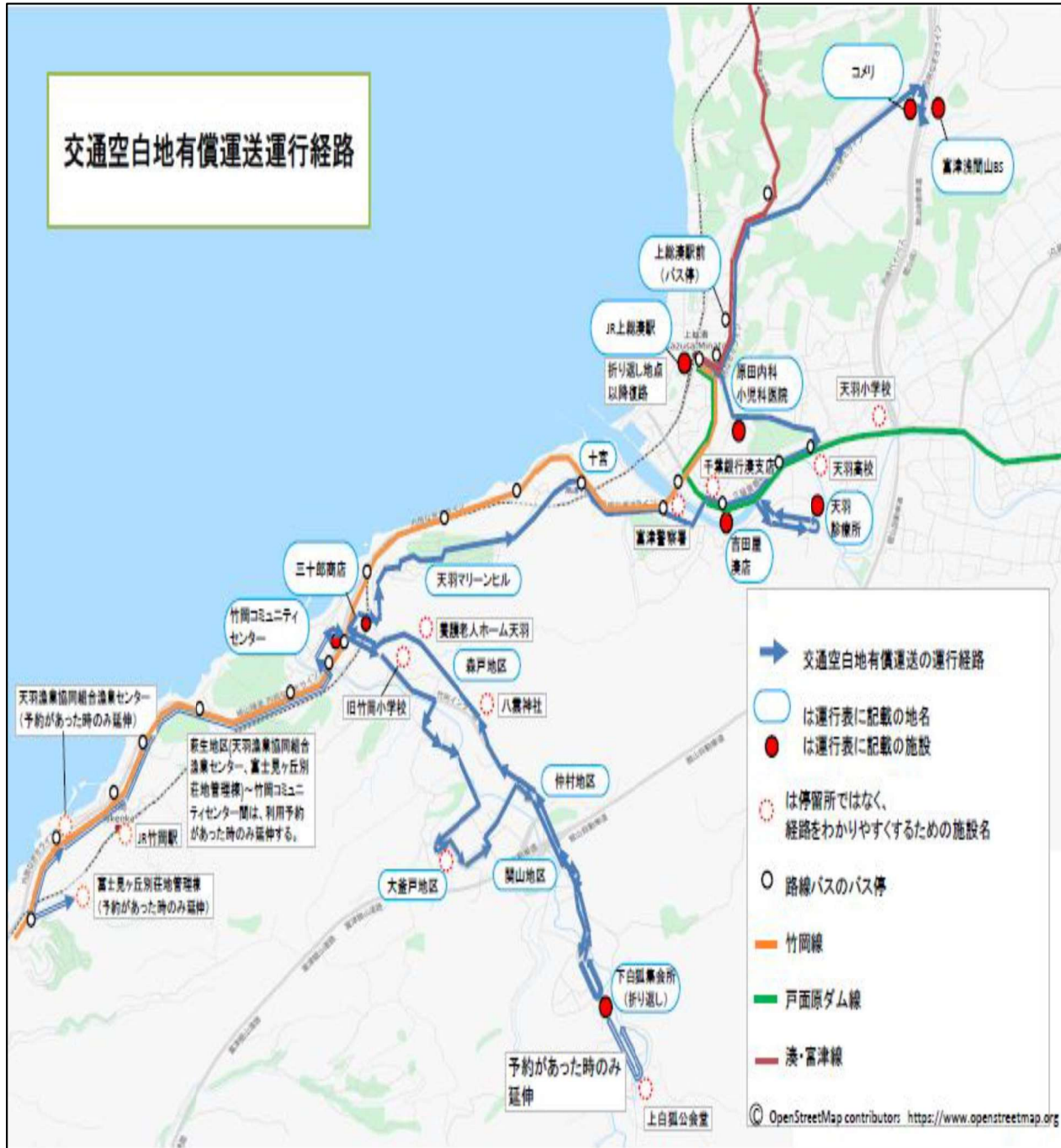
峰上地区交通空白地有償運送事業の実証運行計画(案)について

・第3回(令和4年12月)

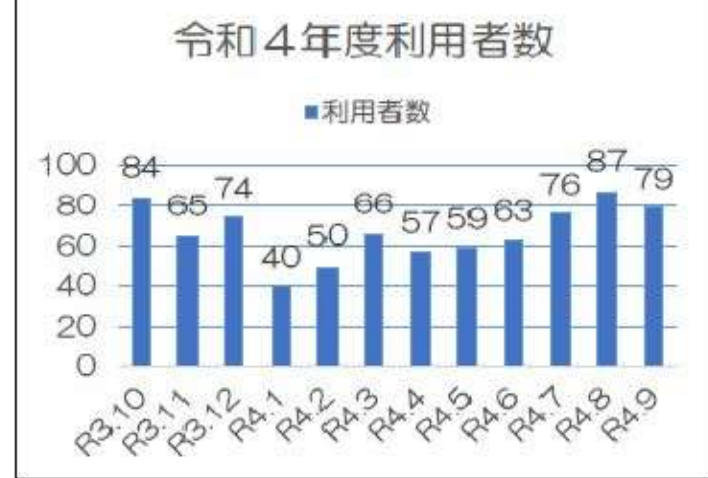
富津市地域公共交通計画(原案)について
生活交通確保維持改善事業に係る事業評価(案)について

補助対象事業の運行系統図及び実績データ

令和4年度 (R3.10~R4.9) 利用実績



月	計画運行日数	計画運行便数	R4運行日数	R4運行便数	利用者数	1運行あたりの利用者数	1運行あたり2人
R3.10	9	31.5	9	24	84	3.50	48
R3.11	8	28	9	25	65	2.60	50
R3.12	8	28	9	23.5	74	3.15	47
R4.1	8	28	7	18	40	2.22	36
R4.2	7	24.5	9	21	50	2.38	42
R4.3	9	31.5	10	26	66	2.54	52
R4.4	8	28	9	24.5	57	2.33	49
R4.5	8	28	9	23	59	2.57	46
R4.6	8	28	9	23	63	2.74	46
R4.7	9	31.5	10	26	76	2.92	52
R4.8	8	28	10	25	87	3.48	50
R4.9	8	28	9	23	79	3.43	46
計	98	343	109	282	800	2.84	564



経常収支 (R3.10~R4.9)

収入	327,000
支出	3,154,736
収支	△2,827,736
収支率	9.65%